

先日、本校の環境委員会の取り組みが、令和4年度の「西東京市環境アワード」を受賞いたしました。そこで、受賞した環境委員会の活動の一部をご紹介します。

### ①ビオトープの整備（伝統的な池沼の再現）



←児童による外来水草の除去の様子

日本の古くから見られる溜池や池沼の風景を身近に感じる機会とするために、外来の水草（オオカナダモ・ナガオモダカ・オオフサモなど）の除去を行い、在来種（トチカガミやマツモ）の育成に励んでいます。

### ②絶滅危惧種の育成および展示

近年、絶滅危惧種に指定された「ニホンウナギ」の飼育・展示を行い、環境問題（黒潮の蛇行、温暖化、河川のコンクリート化、遡上の阻害、農薬の影響など）へ意識が向くようなきっかけづくりをしています。また、4年生の国語の「うなぎのなぞを追って」の学習教材として展示しています。



↑ウナギ水槽（現在2匹を飼育中 都内産の天然ウナギです。）

### ③在来種の水生昆虫の調査

毎年、プールの学習が終わった9月頃に、プールにやってくる水生昆虫の種類と数を調査しています。



↑ プールで捕れた水生昆虫（ハイイロゲンゴロウ・コマツモムシ・ウスバキトンボのヤゴ）

以上のように、環境を守る取り組みや、絶滅危惧種や在来生物などの展示や調査を通して、身近な自然に興味関心をもち、環境や生物との関わりを大切にできる児童の育成を目指しています。